

“ビーチクリーンアップin城南島2007”

城南島海浜公園管理事務所 (TEL3799-6403)

「きれいな砂浜をこどもたちに」をキャッチコピーに、今年も179名の参加をいただき10月13日(土)に行われました。当日は天候にも恵まれ、地元である城南島連合会をはじめ東京都、協賛企



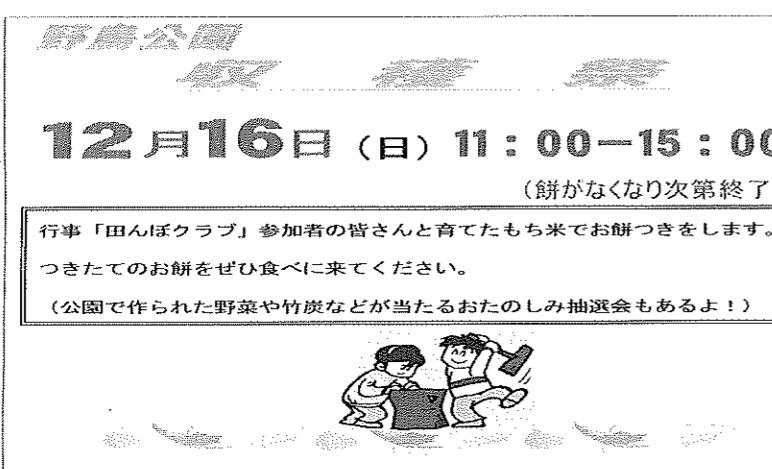
(参加者全員で記念撮影)

東京港野鳥公園行事カレンダー

東京港野鳥公園管理事務所 (TEL3799-5031)

開催日	行 事 名	申込方法・締切り	内 容
★定例行事			
毎週日曜日	・ショートプログラム		10~40分位のスライドショーや観察会です。内容は、季節やその日の様子にあわせたものを行います。
毎月第2日曜	・潮入りぐるっと観察会	当日受付 (12:45~)	どなたでも参加できる初心者向け自然観察会です。普段は入れない保護区の動植物をわかりやすく解説します。
★各月の行事			
12月8日 土	★昼夜がり観察会	当日受付 (12:30~)	
1月1日	★1月1日は開園します。	開園時間 (9:00~16:30)	
1月27日	★昼夜がり観察会	当日受付 (12:30~)	・レンジャーと一緒にこの時期見られるものをさがしてみましょう！
2月24日 土	★昼夜がり観察会	当日受付 (12:30~)	
3月23日 日	★昼夜がり観察会	当日受付 (12:30~)	

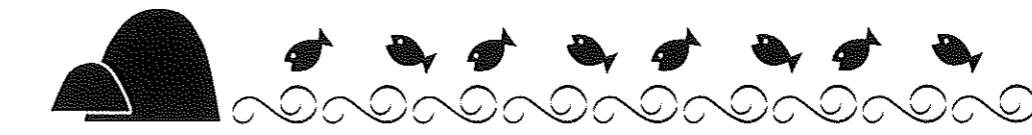
*詳しくは、上記管理事務所にお問い合わせ下さい。

**編集後記**

城南島タイムズは、読者の声の欄や掲示板コーナーをさらに充実させていきたいと思っています。皆様の積極的な活用をお願いいたします。

(財)東京港埠頭公社・城南島連合会新聞委員会

この用紙は再生紙を使用しています。

城南島タイムズ**城南島周辺で動いている公共の事業****「建設発生土城南島基地の閉鎖ご挨拶」と
「埠頭公社の民営化」**

財団法人東京港埠頭公社建設発生土管理事務所 (TEL3529-0281)

基地の閉所にあたりまして、城南島連合会様と、3年間という短い間ではありましたが、新聞委員会の委員の皆様には大変お世話になりましたことを心から御礼申し上げます。

■埠頭公社の民営化

東京港で扱われる外貨物の93%はコンテナ貨物で、そのうち約80%（東京港の70%）が公社が管理・運営している大井・青海コンテナ埠頭で扱われています。しかし、近年アジア諸港（シンガポール、釜山、上海等）の躍進で、日本港湾の相対的地位の低下が指摘され、東京港においては首都圏の生活や産業経済への影響が危惧されています。首都圏の生活、産業経済を恒常に支えていくためには、東京港の物流効率化を促進し、国際競争力の強化と利用者のサービス向上を図ることが必要です。このためには、東京港の外貨コンテナ貨物の約70%を扱うコンテナターミナルを管理・運営する埠頭公社の主力事業である外貨埠頭事業の改革が不可欠です。このため、東京都は埠頭公社を「民営化」することを決定しました。

公社では、民営化に向けて①より柔軟な対応ができる体制作り、②企業性が發揮できる効率的な経営、③東京港の物流効率を促進し、国際競争力の強化に全社を挙げて取組んで参ります。

なお、民営化後の受け皿となる会社は、「東京港埠頭株式会社」という社名で11月25日に設立されました。

東京港臨海道路第Ⅱ期事業

東京都東京港建設事務所 沖合埋立整備課 (TEL 5500-2484)

東京港臨海道路は、東京湾岸道路のさらに南側を通るルートとして大田区城南島と江東区若洲を結び、物流機能の向上、周辺道路混雑の緩和及び交通の利便性の向上を図るために整備を進めています。

全整備長約8.0kmのうち、沈埋トンネルを含む西側の約3.4kmは、第Ⅰ期事業として、ご承知のとおり平成14年4月に供用を開始いたしました。

残りの東側約4.6kmの区間が第Ⅱ期事業で、現在、平成22年度末の完成を目指して施工中です。

第Ⅱ期事業の施工区間は、中央防波堤外側埋立地その1（第1工区）から中央防波堤外側埋立処分場（第4工区）を経て、東京港東航路（第三航路）をトラス形橋梁で渡り、若洲側（第8工区）に至るもので

第Ⅱ期事業は、国土交通省の直轄事業ですが、東京都は、海面に廃棄物処分場を建設してきたこと、その廃棄物地盤に関する施工のノウハウを持っていることから、東京港東航路（第三航路）横断部（第5~7工区）を除く区間を受託施工しています。



中央防波堤外側処分場側アプローチ部橋梁整備状況 (平成19年11月20日撮影)

城南島連合会

◆第22回城南島連合会総会報告

平成19年10月26日（金）午後5時よりアーバンホテル大田市場にて第22回城南島連合会通常総会が開催されました。

本年は通常総会と併せて松原大田区長を迎えて講演会も開催されました。

通常総会議事は下記のとおり。

- 定足数確認 議席数43名中29名が出席し連合会規約第18条第1項により総会は成立了。
- 議長選出 連合会規則第15条により猿渡盛之を議長に選出した。
- 議事進行

◎第一号議案

平成19年度事業報告及び収支決算報告並びに剰余金処分案について審議。

監査報告 新保 明

◎第二号議案

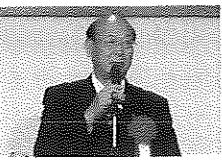
平成20年度事業計画及び予算案の報告並びに審議。

上記議案は連合会規約第18条代2項により原案のとおり賛成多数で可決成立し議長は閉会を告げ散会した。

この後、「羽田空港国際化に伴う臨海地域の未来」と題し松原忠義大田区長の講演会が開催されました。

<講演の大要>

●羽田空港国際化等、今後の展開。



●羽田、大森、蒲田へのアクセスを良くする件。

●大田区は技術の優れた中小企業が多くあり、これを未来に引き継いでいきたい。

●石原都政のもと、オリンピック招致に向けて大田区からも積極的に情報発信していく。等々

この後、懇親会が開催され会長挨拶、ご来賓紹介、乾杯と続いた。

<連合会入退会報告>

入会 (株)三光堂製本、(株)日本イトミックの2社現在会員企業数 130社 社員数 2,074名

準会員 6社 資助会員 4社



以上をもって定期総会、講演会、懇親会は和やかなうちに閉会しました。

◆環境委員会報告

委員長 森 隆

1 平成19年度は月例の島内清掃に参加して頂ける企業も着実に増えてきており、中央

分離帯も各組合にご協力頂き綺麗になってきました。大田区から民間に委託となったゴミ回収も問題なく行われております。各組合、企業に厚く御礼申し上げます。

2 平成20年度の島内清掃は本年同様、毎月第2火曜日としました。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

1月15日(火)	2月12日(火)	3月11日(火)
4月 8日(火)	5月13日(火)	6月10日(火)
7月 8日(火)	8月19日(火)	9月 9日(火)
10月14日(火)	11月11日(火)	12月 9日(火)

3 小型焼却炉廃止問題はアンケートにより実態調査を行いました。平成19年7月時点の結果は下記のとおりでした。

- ①焼却炉がない企業数 53社/61社中
- ②焼却炉がある企業数 8社/61社中
- ③焼却炉を使用中の企業数 2社/61社中

小型焼却炉を使用中の企業もダイオキシンが発生することは知っているとの回答でした。

今後も廃止の方向へ向けて努力してまいります。

4 地域猫は動物愛護センターによる不妊手術の効果が被害の声を聞かなくなりました。

5 バス停付近のタバコ、空き缶のポイ捨ても大分減ってきました。今後も島内企業のお役に立てるよう努力してまいり所存です。

なお、島内企業全社に連合会に加入して頂くこと、また明年的洞爺湖サミットに合わせて駐車禁止の強化も交流委員会、交通委員会だけの問題ではありませんので各委員会にもご協力を願います。

(2) 10月13日に城南島海浜公園清掃ビーチクリンアップが行われました。総参加者179名のうち、城南島連合会より過去最大の63名のご参加を頂きました。

清掃終了後、猪狩社長 専務のご尽力にて楽しいバーベキューで懇親を深めることができました。来年度はさらに良い企画で臨みますので本年を上回る参加を期待しています。

(3) 10月26日に第22回城南島連合会通常総会がアーバンホテルで行われました。

記念講演に松原忠義大田区長をお招きし『羽田空港国際線に伴う臨海地域の未来』と題して講演を頂きました。会場には100名以上の方が集まり立見席も出るほど盛況でした。懇親会も和気あいあいとした雰囲気で、杉崎副会長の中継で散会。

(4) 来年1月18日(金)は、2008年度新春賀詞交歓会を予定をしております。皆様お忙しいと存じますが、万端繋り合わせの上ご参加の程宜しくお願いします。

◆交通委員会報告

委員長 杉崎 武春

平成19年度事業報告、平成20年度事業計画に対して交通委員会から報告します。総会での報告と時間が経過しておりますので、多少変わっております。



交通安全と交通渋滞解消を目的として

(事業報告)

(1) 駐車料金値下げによって、駐車場の空きスペースが無くなり、連合会の収益に貢献し、また放置自動車の数も減りました。また組合員に駐車場の特典を与えることにより、連合会への加盟が増えました。

(2) 京浜大橋北詰交差点(城南大橋より京浜大橋へ向かう357号線との交差点)の工事が決定し平成20年末までに終了予定です。

(3) 大井コールドプラザから出てくるT字路に

一時停止の交通標識を東京都港湾局の協力で設置しました。

(事業計画)

(1) 臨海トンネル上部にスーパーエコタウン地域へのUターン道路の新設を要望しておりますが、引き続き求めていきます。

(2) 大型トレーラー台切ジャッシャーの放置問題解決に努めています。

(3) 最近、お台場方面への臨海トンネル内渋滞が増えておりますが、原因は「海の森(仮称)」が予定されている中央防波堤内側埋立地への右折車両が多く、2車線のうち1車線を塞いでいることです。道路改造を含め、渋滞を解消するよう交渉していきます。

◆交流委員会報告

委員長 井上 忠道

(1) 10月13日に城南島海浜公園清掃ビーチクリンアップが行われました。総参加者179名のうち、城南島連合会より過去最大の63名のご参加を頂きました。

今後も廃止の方向へ向けて努力してまいります。

4 地域猫は動物愛護センターによる不妊手術の効果が被害の声を聞かなくなりました。

5 バス停付近のタバコ、空き缶のポイ捨ても大分減ってきました。今後も島内企業のお役に立てるよう努力してまいり所存です。

(2) 10月19日に第16回連合会交流コンペが茨城県美浦カントリークラブで開催されました。

なお、島内企業全社に連合会に加入して頂くこと、また明年的洞爺湖サミットに合わせて駐車禁止の強化も交流委員会、交通委員会だけの問題ではありませんので各委員会にもご協力を願います。

(3) 10月26日に第22回城南島連合会通常総会がアーバンホテルで行われました。

記念講演に松原忠義大田区長をお招きし『羽田空港国際線に伴う臨海地域の未来』と題して講演を頂きました。会場には100名以上の方が集まり立見席も出るほど盛況でした。懇親会も和気あいあいとした雰囲気で、杉崎副会長の中継で散会。

(4) 来年1月18日(金)は、2008年度新春賀詞交歓会を予定をしております。皆様お忙しいと存じますが、万端繋り合わせの上ご参加の程宜しくお願いします。

◆新聞委員会報告

委員長 渡邊 純一

毎年5月と、12月に新聞を発行しております。今回の発行で第29号です。

毎回の発行部数は3,000部でございます。

今後、羽田空港の国際線化、駐車問題、交流化等を取り上げ城南島に密着した新聞にして行きたいと存じます。

ご意見等ございましたら何なりとお申し付けください。

掲示板

★大森消防署からのお知らせ

新聞委員 佃 善文

1 諸海部の火災状況

平成19年10月1日現在、大森消防署管内の火災は68件発生しています。そのうち諸海部では10件の火災が発生しています。(城南島地区での火災はありません。)

諸海部の出火原因の内訳をみると、10件の火災件数のうち6件が放火、2件が乗用車の車両火災、他は、たばこ及びライターによるものでした。

7月から9月にかけて、放火による火災が5

件連続して発生しまし、屋外に設置されている自動販売機や公園の枯草等が焼損しました。

2 新署長が就任しました。

10月1日付定期人事異動

新署長 園木喜代志(第1消防方面副本部長から)
前署長 今井 努(渋谷消防署長へ)

3 大森消防署にて普通救命講習を開催

- ・講習日 毎月第三火曜日
- ・講習時間 9時~12時
- ・会場 大森消防署3階「防災教室」
(大田区大森1-32-8)
- ・内容 心肺蘇生法、AED(自動対外式除

細動器)操作要領、止血法など

・定員 先着30名

・申込方法 電話にて、大森消防署 警防課
救急係まで (TEL3766-0119)

・費用 受講テキスト1,400円

・一定の技能を修得された方には認定証を交付します。

4 楽しみながら 防災体験!!

イザという時の行動や心構えを楽しみながら身につけましょう。

入館無料・ご利用の際は事前に問い合わせ下さい。

(1) 消防博物館

東京都新宿区西口3-10 TEL03-3353-9119

(2) 池袋防災館

東京都豊島区西池袋2-37-8 TEL03-3590-6565

(3) 本所防災館

東京都墨田区横川1-6-6 TEL03-3621-0119

(4) 立川防災館

東京都立川市泉町1166-1 TEL042-521-1119

★こんな物も作ります。

角渡辺木工所

私達は「小箱からオーダー家具まで使う人の身になった物作り」をモットーに木製品を設計製作しています。

最近は大学の教壇や研修施設などに設置されるAV装置のキャビネット、放送局の調整車、警察本部の110番受信卓等、人目に触れる機会が少ない特殊な製品が多くなっていますが、この度皆さんにも体感していただける家具を作りました。

私は他のコンペではあまり入賞などしないのですが、連合会のゴルフコンペは相性が良く、春季のコンペも準優勝で今回は瀧本さん、佃浩之さんとパートナーに恵まれ、また久しぶりのダブルリベア方式で、偶然ハンディホールでたくさん印くなど勝利の女神が微笑んでくれました。スタート前の集合時に写真撮影があったのですが、運悪くトイレに行ってしまいました。もし写真が掲載されるのであれば、優勝者が写っていないという不思議なショットになっているはずです。今回、リサイクルピアの松島修さん、ニッコーアイ化学研究所の佃浩之さんが初めて参加してくれて、こんな嬉しい事はありません。どんどん声を掛け盛り上げてください。

森ビル株式会社内装部による企画・設計で年輪をイメージした形のオブジェに見えるのですが、テーブルや椅子として使う家具になっています。内部には人の動きを察知して水琴窟を模した音を出す装置が組み込まれています。天井からは木漏れ日を感じさせる特殊な照明が施されています。大きな物は直徑が約2mで内部を限界までえぐってあるのですが、重量が300kgを越えています。小さな物でも100kgあります。取り扱いや搬入路の条件を考慮して2層から6層に分割して製作し、現地で組み上げました。仕上げの塗装に支障をきたさないために接着剤を使うことが出来ず、すべてビス止めで作りました。

また、いつも幹事の杉崎さんには送迎を含め大変お世話になっております。ありがとうございます。

単純な形なのですが存在感があります。それでいて微笑ましい家具に仕上がりました。あまり行く機会の無い場所かもしれません、近くに行かれたらぜひ立ち寄って下さい。何となく楽しい気持ちにさせてくれます。

★新潟県中越沖地震義援金への協力御礼について